

AIなど活用 進化するロボ

広島で展示会

産業用ロボットや生産を効率化する情報技術を集めた「ひろしまAI・I・O・T進化型ロボット展示会」が5日、広島市南区の県立広島産業会館で始まった。人と一緒に働くロボットや、



安全性を意識したロボットなどが並ぶ展示会

ものづくりのデータを集めるシステムが並ぶ。

50社・団体が出展した。

ロボット関連商社の三光電業（西区）は、人と隣り合って働くためにゆっくりと部品を拾い上げるロボットを置いた。振動計測の新川電機（中区）は機械の振動から異常を見つけるシステムを紹介。全国展開のメーカーも最新技術を示す。

人工知能（AI）の展望を語る講演会では、マイクソフトの担当者がゴーグルに映る拡張現実で初心者でも部品を取り付ける位置や角度がすぐに分かるサービスを説明した。

ひろしま産業振興機構が事務局を務める実行委員会が開いた。6日午後5時まで。予約なしで入場できる。